

令和8年度 第2学期

各教科の評価・評定の方法



第1学年

武蔵野市立第一中学校

各教科の評価・評定の方法

「各教科の評価・評定の方法」は、学習状況などについての評価や評定を生徒の皆さんや保護者の方に理解していただくためのものです。この方法を理解することで、どの内容について努力することが必要なのか、どのような点を改善すればいいのかということを見つけ出して下さい。

次のページからは、各教科の学習内容・主たる評価規準・評価方法・評価の観点が入記されています。

① 学習内容

学習する具体的な単元名や内容が入記してあります。

② 主たる評価規準

学習指導要領に示された目標に照らして、学習内容に即した評価の規準を明らかにしたもので、主に重点的に評価する項目が入記してあります。

③ 評価方法

定期テスト・小テスト・レポート・ノート点検・実技テストなど、主たる評価規準に即した評価方法が入記してあります。

④ 評価の観点

各教科の評価の観点が、評価規準、評価方法と関連させて記入してあります。

2学期の通知表の見方

□各教科の学習の記録

① 観点別学習状況の評価（分析的な評価）

観点別学習状況の評価は、学習指導要領に示されている各教科の目標に照らし合わせて、その実現状況を観点ごとに評価し、A、B、Cで記入してあります。

評価の観点は

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つです。この3つの観点は、同等の重みづけで評価されます。

② 評定（総括的な評価）

評定は、学習指導要領に示されている各教科の目標に照らし合わせて、その実現状況を総括的に評価し、5段階で記入してあります。評定は観点別学習状況の評価を総合して、算出したものです。

*観点別学習状況の評価と評定

観点別学習状況の評価		評 定	
十分満足できる	A	特に高い程度のもの	5
		十分満足できる	4
おおむね満足できる	B	おおむね満足できる	3
努力を要する	C	努力を要する	2
		一層努力を要する	1

観点別学習状況の評価のAには評定5、4の要素が含まれ、Cには評定の2、1の要素を含んでいます。観点別学習状況の評価が、AAAの場合、評定が4または5になることがあります。また、CCCでは評定1、2になることがあります。

□特別の教科 道徳

学習状況から、生徒の成長を見取り、年度末に文章で記入します。

□総合的な学習の時間の記録

総合的な学習の時間の記録は、学習活動・観点・評価を記入します。また、「武蔵野市民科」の取り組みについての評価もこの欄に記載されます。3年生は2・3学期、1・2年生は3学期に表記されます。

□特別活動の記録

学級・生徒会活動・学校行事、所属の部活動などの記録です。

□総合所見

生徒の成長の状況にかかわる総合的な所見を示します。たとえば、各教科・道徳・総合的な学習の時間・特別活動・行動に関する事実・進路などの所見及び、生徒の特徴、学校内外における奉仕活動、表彰を受けた行為や活動などがあります。

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考・ 判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
大人になれなかった 弟たちに	- 作品の時代背景や状況を捉えたうえで、文章の内容を理解している。 - 登場人物の行動や風景の描写を基に、心情を捉えている。	ワークシート 朗読・発表 話し合い活動 単元テスト 漢字テスト 定期考査 提出物 観察	○	○	○
星の花が降るころに	- 場面や描写の結び付きを、図などを用いて整理している。 - 場面と場面、場面と描写を結び付けて、作品を解釈している。				
項目を立てて書こう	情報を整理し、相手を意識してわかりやすい案内文を書いている。				
今に生きる言葉	- 漢文を音読し、独特のリズムや言い回しに親しんでいる。 - 漢文の訓読の方法を理解している。 - 故事成語について理解し、自分の生活と結び付けて考えている。				
空の詩三編	- 詩の言葉を読み味わい、語感を磨く。 - 詩の構成、詩の描かれている状況を捉え、表現の効果を考えている。				
比喻で広がる言葉の 世界	- 文中の比喻の文脈上の意味と効果を理解している。 - 各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。				
方言と共通語	共通語と方言のそれぞれの役割や活用場面について考えている。				
書写	- 字形・配列・筆遣いに留意して文字を書くことができる。 - 楷書と行書の違いを理解している。				
文法	- 主語・述語、文節相互の関係、連文節、文の組み立てについて理解している。 - 単語の分類について理解している。				
漢字・語句	学習した漢字・語句について理解している。				

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考 判断・表現	主体的な学習の取 組む態度
歴史的分野 第2章 古代までの日本 2節 日本列島の誕生と大陸との交流 3節 古代国家の歩みと東アジア世界 第3章 中世の日本 1節 武士の政権の成立	・縄文時代の暮らしや文化について理解している。 ・弥生時代の暮らしや文化、大陸との関係について理解している。 ・古代朝鮮の様子や、邪馬台国と大陸の関係について資料を基に考察している。 ・古墳について理解するとともに、古墳からわかる日本統一の動きについて考察している。 ・飛鳥時代の一連の改革内容と、めざす国家像を国際関係の下に考察している。 ・大宝律令に結実した律令制度を資料を通して理解している。 ・人々の暮らしを理解し、奈良時代・平安時代の課題について考察している。 ・飛鳥文化・天平文化・平安文化の特性・内容を理解している。 ・武士が登場し成長した背景を、政治の弛緩とともに理解し考察している。 ・鎌倉時代の武士による政治・生活・文化を考察し理解している。	定期考査 小テスト レポート	○	○	○
地理的分野 第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境 第2章 世界の諸地域 第1節 アジア州	・熱帯・乾燥帯・温帯・冷帯・寒帯の特徴と分布について、資料を基に理解している。 ・高地の気候について資料を基に理解している。 ・気候のグラフを考察し、ある程度読み解くことができる。 ・気候と人々の生活・宗教などの文化の関わりについて考察し理解している。 ・アジア州の自然環境や人口・産業などを俯瞰し理解している。 ・経済成長を急速に遂げた中国の社会・政策・課題について理解し考察している。 ・韓国の文化・産業・日本とのかわりについて理解し考察している。 ・東南アジア・南アジアの多民族社会や文化・産業について理解し考察している。	提出物 授業観察	○	○	○

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考・ 判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
3章 方程式 1節 方程式とその解き方 2節 1次方程式の利用	- 求めたい数量がある問題を、既習の内容を活用して解決することを通して、方程式の必要性を理解することができる。 - 方程式とその解の意味を理解し、文字に値を代入して方程式の解を求めることができる。 - 等式の性質や移項の意味を理解し、移項の考えを使って、様々な方程式を解くことができる。また、比例式の性質を利用して、文字の値を求めることができる。 - 具体的な場面と関連付けて、方程式を利用して解決することができる。また、求めた解が問題に適しているかどうかを考え説明することができる。	提出物（授業ノート、ワークテスト直しプリント等） 単元振り返りテスト 定期考査	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
4章 比例と反比例 1節 関数と比例・反比例 2節 1次方程式の利用	- 比例、反比例、比例定数、関数の意味を理解している。 - 平面上の点の座標を求め、座標を平面上の点で表したりする方法を理解している。 - 比例・反比例の関係を、式に表し、その特徴を読み取ったりすることができる。 - 比例や反比例の関係を、グラフに表すことができる。 2つの数量の間に比例・反比例の関係があるかどうかを、式をもとに判断し説明することができる。	確認テスト （計算テスト等）	○	○	○
5章 平面図形 1節 図形の移動 2節 基本の作図 3節 おうぎ形	- 平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。 - それぞれの移動の意味や性質について理解し、説明できる。 - 基本の作図の意味と方法を理解し、作図したて大きさを求めることができる。 - おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。				

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考・ 判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
身の回りの物質とその性質	身のまわりの物質の性質をさまざまな方法で調べる実験を通して、実験器具の操作や記録の仕方など基本的な技能を身につけるとともに、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があること、それらから物質を見分けられることを見だし、理解している。また、科学的に探究することができている。	定期考査	○	○	
		小テスト	○	○	
気体の性質	気体を発生させてその性質を調べる実験を通して、気体を発生させる方法や捕集法などの操作や記録の仕方などの基本的な技能を身につけるとともに、気体の種類による特性や規則性を見だし、理解している。また、科学的に探究することができている。	実験レポート	○	○	○
		ノート・ファイル		○	○
水溶液の性質	水溶液から溶質をとり出す実験を通して、実験に関する操作や記録の仕方などの基本的な技能を身につけるとともに、物質の性質や溶解における規則性を見だし、理解している。また、科学的に探究することができている。	ワーク提出			○
物質の姿と状態変化	物質の状態変化についての観察・実験を通して、実験に関する操作や記録の仕方などの基本的な技能を身につけるとともに、物質の性質や状態変化における規則性を見だし、物質の融点や沸点に関する基本的概念や原理・法則を理解している。また、科学的に探究することができている。	課題提出	○	○	○
		授業態度			○
動物の分類	生物の共通点と相違点、分類の仕方に着目しながら動物のからだについての共通点と相違点、分類の仕方についての基本的な概念や原理、法則を見だして理解するとともに、観察や実験の基本操作、記録の仕方などの基本的技能を身につけている。また、科学的に探究することができている。				

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌唱 合唱コンクール課題曲「幸せ」 各クラス自由曲	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。 ・音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 定期テスト 実技テスト	○	○	○
歌唱「赤とんぼ」	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 定期テスト	○	○	○
鑑賞「魔王」	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業内発言 ワークシート 批評文 定期テスト	○	○	○
器楽 身体を楽器にしたアンサンブル	・曲想とリズムの特徴、強弱の変化、テクスチュアとの関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。 ・リズムの特徴、強弱の変化、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ・リズムの特徴、強弱の変化、テクスチュアの違いによって生み出される曲想の変化に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表	○	○	○
創作 リズム創作	・音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。 ・リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	ワークシート 発表	○	○	

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考・ 判断・表現	主体的に学習 に取り組む態度
ポスターカラーで 描く (平面構成)	○基本的な使い方や正しい方法など、無駄のない効率的な道具の使い方を学ぶとともに、 意欲をもって取り組むことができる。	・授業観察	○	○	○
粘土でつくる (そっくりにつくる)	○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、材料や用具の生かし方などを身に 付け、意図に応じて工夫して表すことができる。	・アイデアスケッチ 、プリント、鑑賞 プリント、振り返 りカード等の 提出物	○	○	○
美術鑑賞を楽しむ 手がかり	○対象を見つめ、感じ取った形や色彩の特徴や美しさなどを基に主題をとらえ、全体と 部分との関係を考え、心豊かに表現できる構想を練ることができる。	・作品	○	○	○
	○自分の思いや学校生活の経験をもとに、表現を通して自己を伝えようとし、粘り強く制作に 取り組む姿勢が見られる。				
	○友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図と工夫について考え、それを 自分の作品へ生かすことができる。	・定期テスト	○	○	○
	○造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え 見方や感じ方を広げることができる。				

学習内容		主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水泳	自由形・背泳ぎ (時間泳)	- 特性や成り立ち、技術の名称や行い方などを理解している。 - 健康や安全に気を配り、水泳の事故防止に心がけることができる。 - 各泳法において、手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 - 記録向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身につけることに積極的に取り組んでいる。 - 泳法を身につけるための運動の行い方のポイントを見付け、課題解決のために練習を工夫できる。	観察チェック (授業中の行動・姿勢・発言)	○	○	○
陸上競技	中・長距離走 (走り幅跳び)	- 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 - 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 - 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどができる。 - 中・長距離走では自己に合わせたペースを考え粘り強く最後まで走り通すことができる。 - 走り幅跳びでは自分に合った助走距離を見つけ、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。				
球技	バスケットボール バレーボール (ハンドボール)	- 各球技種目の特性や成り立ち、技術の名称や行い方などを理解している。 - 積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとする。 - 自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫したりしている。 - 役割に応じたボール操作や定位置に戻るなどの動きによって攻防をすることができる。 - ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 - ゴール方向に守備者がいない位置でシュートし、ゴールを決めることができる。 - 役割に応じたボール操作や定位置に戻るなどの動きによって攻防をすることができる。 - 攻防などの自己のチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。				
器械運動	マット運動	- 技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解する。 - 自己や仲間の力に合った技を選び、組み合わせたりすることができる。 - 技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の感じたことを他者に伝えることができる。 - 自主的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとする、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康、安全を確保することができる。 - 器具の準備や片付けで、分担された役割を果たし積極的に取り組もうとしている。 - 切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技、技を組み合わせた連続技を行うことができる。	学習カード	○	○	○
武道	剣道	- 技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、技の名称や、その運動に関連して高まる体力などを理解し、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができる。 - 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 - 積極的に取り組み、相手を尊重し、武道の伝統的な行動の仕方を大切にすることや、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどなどに意欲をもち、健康や安全に気を配ることができる。	実技テスト	○		
体育理論 運動やスポーツへの多様な関わり方		- スポーツには、「行うこと」「見ること」「支えること」「調べること」といったさまざまな関わり方があることを知るとともに、それぞれの関わり方の特徴や楽しさを理解している。 - 自分がスポーツにどのように関わっているか、今後どのように関わっていききたいかについて考えている。	期末考査			
保健分野 心身の機能の発達と心の健康		- 心身の発達や心の健康について関心を持ち、資料などを基に課題について調べようとする。また、仲間の考えや意見を聞いたり、自分の意見を発表したりすることができる。 - 自分の生活を振り返り、問題点を見つけることができる。また、資料をもとに予想したり整理したりすることができる。 - 年齢に伴う身体の各器官の発達傾向や性差、個人差などがあることを知っている。また、思春期は、心身の変化や性機能の成熟、自己の認識が深まる重要な時期であることを知っている。				

※校庭の状況、天候などによって授業内容を変更することがあります。

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○材料と加工に関する技術	○道具や工具の仕組みを理解し、効果的に使用することができる。	・授業観察	○	○	○
	・同じ加工法であっても材料によって適する工具が違うことを理解させる。	・作品	○	○	○
・ブロックパズルの作成	○材料に適した加工方法を実践し、正しく安全に工具や機械を利用することができる。	・ワークシート	○	○	○
	・作業における不安全状態や不安全行動について考えさせる。	・定期テスト	○	○	
・構想設計製図シート	○身の回りの製品に使われている材料と加工の特徴を調べ、まとめることができる。	・実技テスト	○	○	
	・身近な製品の開発によってどのような問題が解決されているか考える。				
・設計図、材料取り図の作成	○目的とする加工に応じた工具や機器について理解する。				
	・両刃鋸を渡し、刃の様子を観察させ、刃の特徴について気付かせる。				
・作品作り（マルチスタンド）	○材料と加工の技術に込められた工夫点について考えることができる				
	・使用者と開発者の両方の視点から機能性や資源の有限性、経済性、安全性、生産効率、耐久性などについて考えさせる。				
	○技術の見方・考え方はたらかせて、問題を発見することができる。				
	・問題を解決するために、自分なりの課題を設定することができる。				
	○構造に基づいて計画を立てることができる。				
	・製作品が完成するまでの設計・製作を振り返ってできたことやできなかったことを確認する。				
	○安全・適切な製作や検査、修正ができる。				
	・製作品と、材料取り図や製作工程表を見ながら品質と行程の両面から評価する。				

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考・ 判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
B食生活 3. 中学生に必要な食事 4. 日常食の調理と地域の食文化 ①食品と調理 ②生鮮食品の選択と保存 ③肉の特徴と調理 ④魚の特徴と調理	・中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。 ・1回の食事を目で見て、栄養バランスが取れているか判断できるようにする。 ・調理の意義や、おいしさと調理の関係について理解する。 ・生鮮食品の特徴がわかる。 ・目的に応じて生鮮食品を確かな目で選択・保存できる。 ・肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。 ・魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、魚を調理することができる。	授業観察 提出物 プリント 定期考査 レポート	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
⑤野菜の特徴と調理 ⑥加工食品の選択と保存	・野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。 ・目的に応じて加工食品を選択できる。 ・加工食品を用いて調理をすることができる。				
⑦受け継がれてきた食文化	・地域でとれる食材を、それを使う意義と和食の特徴や調理を理解する。				

学習内容	主たる評価規準	評価方法	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 4 Our New Friend	<知識・技能> 3人称単数を主語とする be 動詞の文の意味・形・使い方の理解をもとに、身近な人物について、説明の内容を聞き取ったり、話したりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> 登場人物の説明から、必要な情報を聞き取っている。ALT に、伝えたい情報を整理して、紹介したい先生について発表している。 <主体的に学習に取り組む態度> 登場人物の説明から、必要な情報を聞き取ろうとしている。ALT に、伝えたい情報を整理して、紹介したい先生について発表しようとしている。	ペーパーテスト (定期考査等)	○	○	○
Daily Life 1 落とし物	<知識・技能> whose の意味・使い方を理解し、落とし物の持ち主についてやり取りをする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> 落とし物の持ち主を探すために、誰のものをか尋ねたり、相手からの質問に持ち主を伝えたりしている。 <主体的に学習に取り組む態度> 落とし物の持ち主を探すために、誰のものをか尋ねたり、相手からの質問に持ち主を伝えたりしようとしている。				
Unit 5 Hi, David!	<知識・技能> 命令文、Where、When についての理解をもとに、チャットのやり取りの内容を読み取ったり、時間や場所の希望をきき出したりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> チャットのやり取りから、必要な情報を読み取っている。ALT の行きたい場所やしたいことなどについてやり取りしている。 <主体的に学習に取り組む態度>、チャットのやり取りから、必要な情報を読み取ろうとしている。ALT の行きたい場所やしたいことなどについてやり取りしようとしている。				
Daily Life 2 注文	<知識・技能> 注文のしかたや金額や数のたずね方など、買い物や注文特有の表現の意味・使い方についての理解をもとに、買い物や注文のやり取りをする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> 注文したいものの数や値段を聞いたり、相手からの質問に答えたりするやり取りをしている。 <主体的に学習に取り組む態度> 注文したいものの数や値段を聞いたり、相手からの質問に答えたりするやり取りをしようとしている。	パフォーマンステスト 課題 (スピーチ) (インタビュー) (ライティング) など	○	○	○
Unit 6 Cheer Up, Tina	<知識・技能> 3人称単数を主語とする一般動詞の肯定文・疑問文・否定文についての理解をもとに、紹介文の内容を読み取ったり、紹介文を書いたりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> 紹介文を読んで、おおまかな内容を捉えている。伝えたい情報を整理して、紹介文を書いている。 <主体的に学習に取り組む態度> 紹介文を読んで、おおまかな内容を捉えようとしている。伝えたい情報を整理して、紹介文を書こうとしている。				
Daily Life 3 バス停 Daily Life 4 道案内	<知識・技能> 時刻の尋ね方や時刻の言い方についての理解をもとに、時刻についてやり取りする技能を身につけている。行き方の尋ね方や所要時間のたずね方など、道案内特有の表現についての理解をもとに、道案内のやり取りをする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> 相手を気遣う言葉をかけたり、バスの行先や時刻についての質問に答えたりするやり取りをしている。目的地までの道順や所要時間についての質問に答えたり、相手を気遣う言葉をかけたりするやり取りをしている。 <主体的に学習に取り組む態度> 相手を気遣う言葉をかけたり、バスの行先や時刻についての質問に答えたりするやり取りをしようとしている。目的地までの道順や所要時間についての質問に答えたり、相手を気遣う言葉をかけたりするやり取りをしようとしている。				
You Can Do It! 2 ゲストの魅力伝える MC になるう	<知識・技能> 既習の表現・語句の意味や働きについての理解をもとに、ゲストを迎える人物についての紹介文の内容を読み取ったり、紹介文を書いたりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ゲストを呼び込むときに使う台本を読んで、おおまかな内容を捉えている。伝えたい情報を整理して、ゲストを呼び込むときに使う台本を書いている。 <主体的に学習に取り組む態度> ゲストを呼び込むときに使う台本を読んで、おおまかな内容を捉えようとしている。伝えたい情報を整理して、ゲストを呼び込むときに使う台本を書こうとしている。	リスニングテスト	○	○	○